

1 経歴

私は、〇〇（飲食店の経営者、医療機関に従事している者等、具体的にご記入ください）であります。私は、〇〇（就職した理由等をご記入ください、収入を得て家族を養うため、〇〇に強いやりがいを感じたため等）のために現在の職に就き、今日に至るまでこの仕事に従事してまいりました。

（その他、現在のご職業を通じての実績や活動があれば、ここにご記入ください。

例：会社の経営を通じて地域社会を盛り上げた、営業を通じて顧客の満足を得ることがやりがいにつながっている等）

現在も、私は自らの経済的生活及び人格的価値の形成の基盤となるこの職にいそしんでおります。

3 日本国における影響及び私が受けた損害について

私は、前述しましたように〇〇（飲食店の経営者、医療機関に従事している者等、具体的にご記入ください）でありますところ、日々の生活のためにこの職に尽力してまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大による日本国政府の緊急事態宣言を受けて、〇〇（被害等を具体的にご記入ください。例：飲食店の需要減少に伴い経営が悪化、医療現場のコロナ患者の増加に伴い仕事の負担が増加し心身ともに疲労が続く、経営難に伴い解雇された等）という状況に陥ってしまいました。

また、ウイルスの感染拡大に伴い、政府による給付金を受給しておりますが、〇〇（仕事環境が悪化、職を喪失、顧客が減少等、具体的に状況をご記入ください）した現在の状況においては、その給付金も生活の維持、立て直しに十分な額とは到底言えず、苦しい生活が続いております。

またコロナ第二波以降の影響により再び緊急事態宣言が発令されてしまい〇〇（営業時間短縮せざるを得ない、予約のキャンセルの増加、利益の低下等）になってしまいました。この生活がいつまで続くかどうかについても不透明な状況が継続しており、長い間、不安な状態が続いています。

（その他、仕事に関連する損害がありましたら、具体的にご記入をお願いします。

例：本来の稼ぎ時である夏休みや年末に自粛の影響で顧客を得ることが出来なかった。非対面式の労働により仕事効率が低下した、等）

営業活動の自由は個人の人格的価値形成と不可分の性質をもつものであり、憲法 22 条 1 項に定められた重要な権利であります。また私としても自身の一生涯をかけて取り組んできた極めて重要なものであります。かかる営業活動を制限されたことで私が受けた精神的、経済的損害は計り知れないものがあります。